



2019年12月期 1Q

決算説明資料

2019年5月10日 株式会社フルキャストホールディングス (4848)

- I FY2019 1 Q連結業績 (2019年1月～3月)
- II FY2019 1 Qセグメント業績 短期業務支援事業 (2019年1月～3月)
- III FY2019 1 Qセグメント業績 営業支援事業 (2019年1月～3月)
- IV FY2019 1 Qセグメント業績 警備・その他事業 (2019年1月～3月)
- V FY2019 1 Q業績予想進捗

I FY2019 1Q連結業績 (2019年1月~3月)

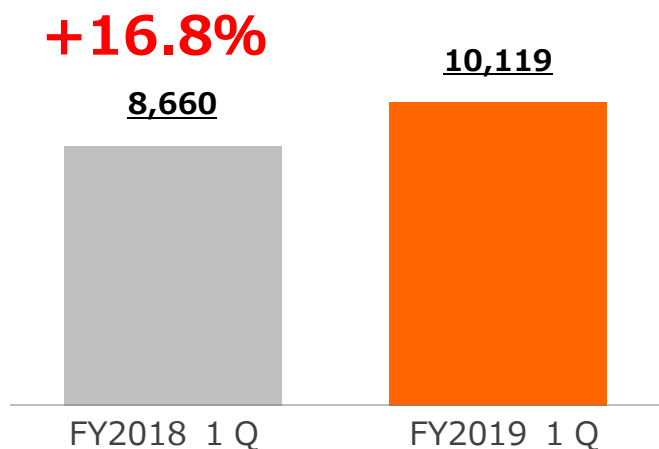
【売上高増減要因】

- 逼迫する短期人材需要の基調に変化なく、主力サービスである「紹介」+「BPO」及び「派遣」がけん引したことにより、売上高は、前年同期比**16.8%の増収**となった。

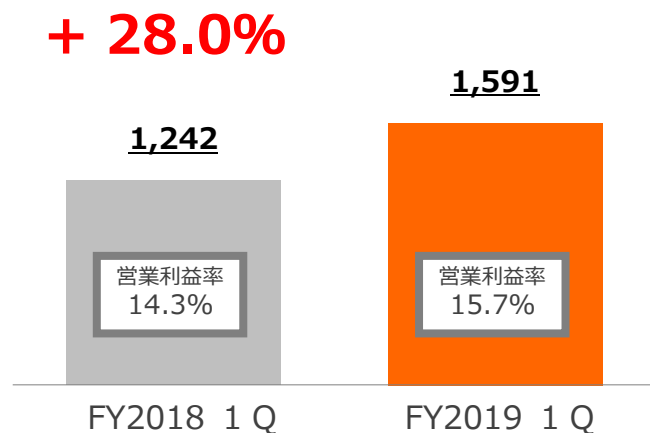
【営業利益増減要因】

- 主力サービスの増収を主因とし、営業利益は、前年同期比**28.0%の増益**となり、営業利益率は**1.4PT改善**した。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



➤ 営業利益が増益したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比 **28.8%の増益**となった。

	FY2018 1 Q	FY2019 1 Q	増減額	増減率
	(百万円)			
売上高	8,660	10,119	1,459	16.8%
売上総利益	3,790	4,437	646	17.0%
販管費	2,548	2,846	298	11.7%
営業利益	1,242	1,591	348	28.0%
営業利益率	14.3%	15.7%	—	1.4PT
経常利益	1,277	1,604	327	25.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	827	1,066	239	28.8%

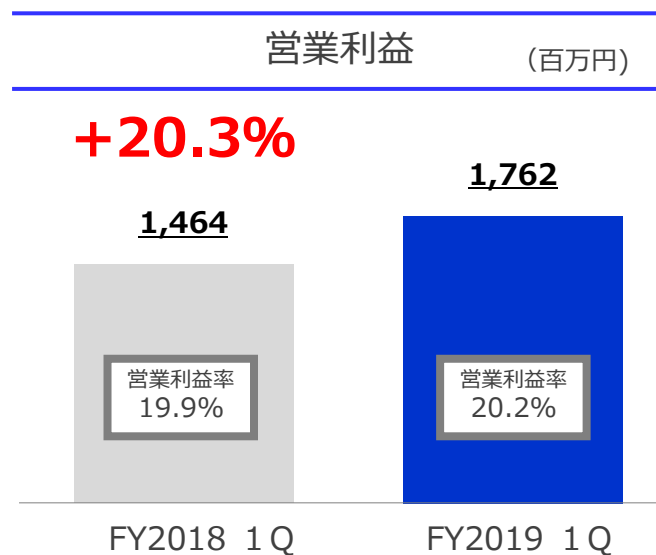
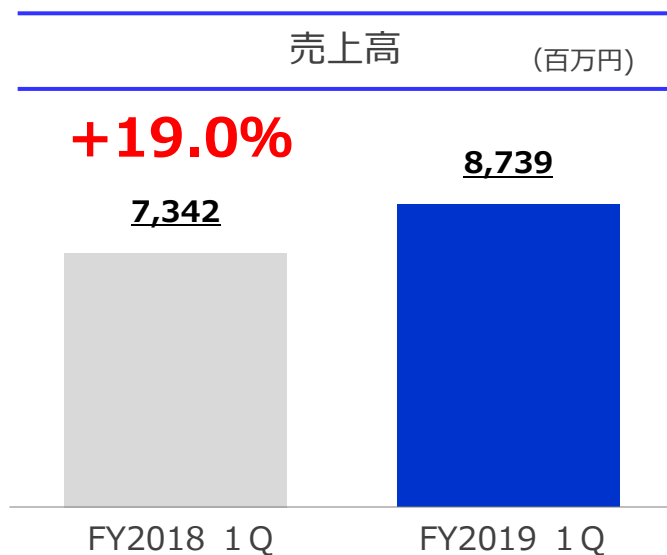
Ⅱ FY2019 1Qセグメント業績 短期業務支援事業 (2019年1月～3月)

【売上高増減要因】

- 逼迫する短期人材需要の基調に変化なく、主力サービスである「紹介」+「BPO」及び「派遣」がけん引したことにより、売上高は、前年同期比**19.0%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

- 主力サービスの増収を主因とし、営業利益は、前年同期比**20.3%の増益**となり、営業利益率は**0.2PT改善**した。



短期 FY2019 1Q前年同期比較（サービス区分別）

(百万円)

	FY2018 1Q	FY2019 1Q	増減額	増減率
売上高	7,342	8,739	1,398	19.0%
紹介	1,308	1,468	160	12.3%
BPO	1,429	1,699	271	18.9%
派遣	4,106	4,851	744	18.1%
請負	499	721	222	44.6%
売上総利益	3,368	3,989	621	18.4%
紹介	1,256	1,410	154	12.3%
BPO	1,374	1,616	242	17.6%
派遣	652	772	121	18.5%
請負	87	191	104	119.7%

- 顧客企業の短期人材ニーズに、主力サービス「紹介」及び「BPO」のうち、中核的なメニューである「給与管理代行」サービスをセットで提供できたこと、また、「BPO」のうち、第1四半期にのみ発生するサービスである「年末調整事務代行」サービスの売上が計上されたことにより、両サービスが伸張した。
- 顧客企業の採用需要の内、長期人材ニーズにも応えた結果、「派遣」が伸張した。
- 新たに連結子会社としたミニメイド・サービス株式会社の業績を取り込んだことで、「請負」が伸張した。

✓ 2018年12月期第4四半期連結会計期間より、2018年8月31日付で連結子会社とした、ミニメイド・サービス株式会社の実績を含めております。同社の業績は、「請負」サービスに計上しております。

Ⅲ FY2019 1Qセグメント業績 営業支援事業 (2019年1月～3月)

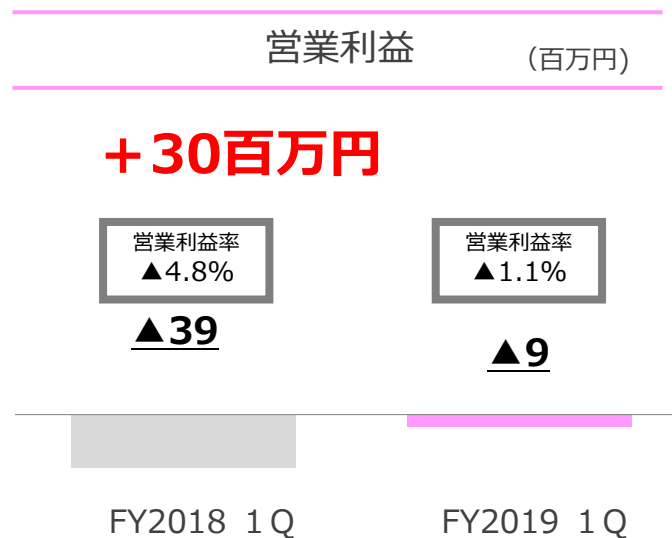
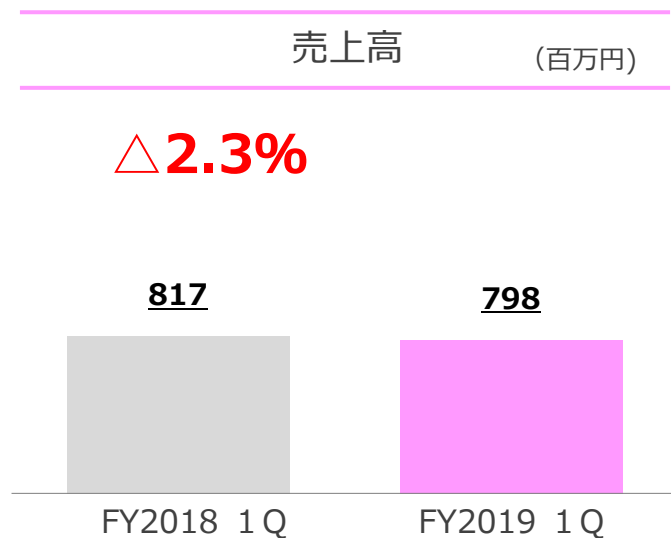
【売上高増減要因】

- 主として、前期に不採算拠点の整理を行ったこと等の影響により、前年同期比**2.3%の減収**となった。

【営業利益増減要因】

- 減収に伴い営業損失を計上したものの、前年同期比で赤字幅を縮小させた。

✓ 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」及び「アライアンス事業」並びに「エンターテイメント事業」を行っております。



IV FY2019 1Qセグメント業績

警備・その他事業

(2019年1月～3月)

【売上高増減要因】

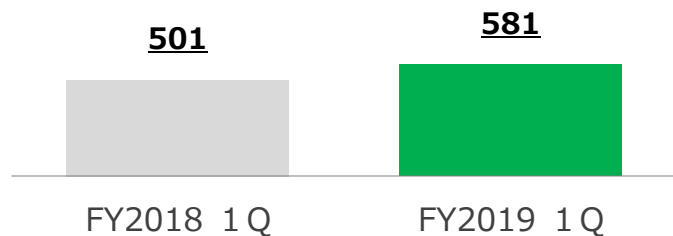
- 警備事業において、常駐警備案件の獲得数が増加したことで、前年同期比**15.9%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

- 増収したこと及び採算性を重視した営業活動の継続により利益率の高い常駐警備案件を獲得し、売上総利益率を改善させたこと、加えて、販管費を前年同期同等に抑制できたことで、営業利益は前年同期比**53.6%の増益**となり、営業利益率は**2.4PT改善**した。

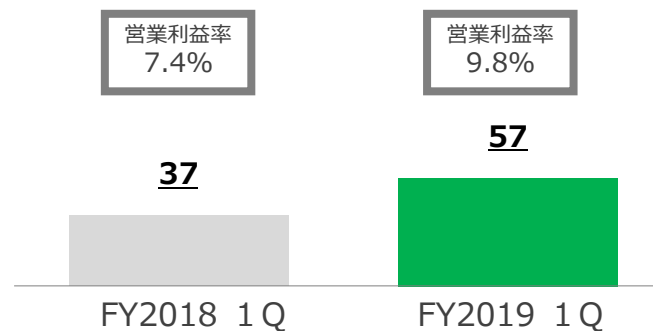
売上高 (百万円)

+15.9%



営業利益 (百万円)

+53.6%



V FY2019 1Q業績予想進捗

FY2019 1 Q業績予想進捗

- 主力事業である短期業務支援事業が好調に推移し、当第1四半期連結会計期間業績は、第2四半期連結累計期間業績予想に対し、いずれも50%を超過して進捗している。
- 当第1四半期連結会計期間業績は、業績予想の修正を要しない水準で進捗していることから、第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想の修正は行わない。

(百万円)

	FY2019 1Q	FY2019 2 Q累計予想	進捗率	FY2019 通期予想	進捗率
売上高	10,119	19,800	51.1%	42,300	23.9%
売上総利益	4,437	8,853	50.1%	18,811	23.6%
営業利益	1,591	3,150	50.5%	6,830	23.3%
経常利益	1,604	3,194	50.2%	6,930	23.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,066	2,114	50.4%	4,593	23.2%
短期業務支援事業 売上高	8,739	—	—	36,766	23.8%
紹介	1,468	—	—	6,417	22.9%
BPO	1,699	—	—	6,578	25.8%
派遣	4,851	—	—	19,726	24.6%
請負	721	—	—	4,045	17.8%
営業支援事業 売上高	798	—	—	3,317	24.1%
警備・その他事業 売上高	581	—	—	2,217	26.2%

■ 資本政策の基本的な方針

当社グループは「持続的な企業価値向上」を実現するために、適切な資本効率性及び財務健全性を保持することを基本的な方針とします。

- 「企業価値向上」を支える指標として、適切な資本効率性を保持するため、株主還元
の目標を総還元性向50%としております。
- ROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標としております。
- 「企業価値向上」を実現するため、また適切な財務健全性を確保するためDEレシオ上
限0.5倍としております。

免責事項

- ▶ Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。

注記事項

<当資料について>

- ▶ 当資料では、セグメントである短期業務支援事業の表記を「短期」、営業支援事業を「営業」と一部で記載しております。
- ▶ 当資料では、2012年10月1日の労働者派遣法改正法の施行に合わせて開始した、短期業務支援事業における「アルバイト紹介」を「紹介」、「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに株式会社BODが行っているBPOサービスを「BPO」と、各々サービス名を省略して記載しております。また、労働者派遣法改正法の施行後も継続して行っている契約期間が31日以上「長期派遣」サービスを「派遣」と記載しております。

<短期業務支援事業について>

- ▶ 2018年12月期第4四半期連結会計期間より、2018年8月31日付で連結子会社とした、ミニメイド・サービス株式会社の実績を含めております。同社の業績は、「請負」サービスに計上しております。
- ▶ 「BPO」サービスは「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに株式会社BODが行っているBPOサービスを合算しております。
- ▶ 短期業務支援事業セグメントにおけるサービス区別の数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

<営業支援事業について>

- ▶ 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」及び「アライアンス事業」並びに「エンターテイメント事業」を行っております。
- ▶ 「コールセンター事業」及び「WEB事業」並びに「アライアンス事業」は、いずれもインターネット回線の販売業務を行っております。

<2019年12月期業績予想について>

- ▶ セグメント別売上高の第2四半期累計期間業績予想は開示しておりません。

すべての人をいちばん輝ける場所へ。

米国預託証券プログラム：



BNY MELLON
DEPOSITARY RECEIPTS

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：1ADR = 原株1株
米国証券コード（CUSIP）：35968P100

Symbol：FULCY
預託銀行：バンクオブニューヨークメロン

240 Greenwich Street, New York, NY 10286, U.S.A.
TEL：(212) 815-2077
U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS)
Web Site：http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

【お問い合わせ先】

IR課：03 - 4530 - 4830
URL：https://www.fullcastholdings.co.jp/ir
Email：IR@fullcast.co.jp